

単 元 名	～『モアイは語る—地球の未来』～ <b>「○○は語る～なぜ○○は…なのか」</b>
-------------	--

教科書出版社名 ( 光村図書 )

○ 中学校 ( 2 ) 年 教科等 ( 国語 )

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

<p>(教科等で付けたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍やインターネットなど様々な情報を集め、根拠を適切に用いながら、分かったことや伝えたいことを相手に分かりやすく伝える力。</li> </ul> <p>(学校図書館等の活用で付けたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ多くの事実や確たる根拠をもとに、情報を分析し整理する力。</li> <li>・目的に応じて集めた情報を整理し、わかりやすくまとめて伝える力。</li> </ul>
---

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報収集…目的に応じて資料やタブレット端末で調べ、必要な情報を集める。</li> <li>●整理・分析…課題を解決するために調べたことをノートに書き、自分の考えを整理する。</li> <li>●まとめ・表現・発信…課題に対する解決策など、整理した情報や根拠をもとに他者に伝え、学習した成果を披露する場を設定する。</li> </ul>
---

○ 学習の展開 (全 11 時間)

第 1 時	『モアイは語る—地球の未来』を読み、分かったこと、気づいたことをまとめる。
第 2 時	文章の構成をつかみ、序論の役割と序論における筆者の工夫を考える。
第 3 時	本論で述べている 4 つの問いに対する答えとその根拠についてまとめながら、それぞれの関係を考える。
第 4 時	筆者の論理の展開を吟味し、筆者の主張を捉える。
第 5 時	調べ活動の準備を行う。自身が謎だと思うことを探し、テーマを設定する。
第 6 時	情報の種類とその特徴について学ぶ。
第 7 時	引用について学び、引用の方法を練習する。
第 8・9 時☆ (本時)	テーマについての調べ学習を行う。
第 10 時	まとめたいくつかのカードを、接続詞を用いてつなげ、『モアイは語る—地球の未来』での筆者の説明の工夫を参考にしながら、自分が調べたテーマについて説明 (発表) し合い、ブラッシュアップする。
第 11 時	前時での共有をふり返り、カードを仕上げる。

技術科との連携 (教科横断)
----------------

(本時 8 ~ 9 / 11 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい  
各自で設定した「〇〇は語る～なぜ〇〇は・・・なのか」の謎について、書籍やインターネットなど様々な情報を集めて、根拠をもとに分かったことをカードにまとめる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1.前時での学習(引用の方法)をふり振り返りながら、本時の活動で作成するカードの作成手順について確認する。  「〇〇は語る～なぜ〇〇は・・・なのか」の謎を探れ	・自分が伝えたいテーマについて調べるうえで、引用の方法や文献表示・出典についてなぜ必要なのかを確認させる。
展開 20分	【情報活用のカ】 2.自分が選択したテーマについて、調べ学習を行う。 ＜テーマ＞ ①「人体は語る」…人間の身体づくり(骨・臓器・免疫など)について ②「地球は語る」…地球で起こっている現象(火山・地震・台風・雷)などについて ③「ざんねんな生き物は語る」…ざんねんな生き物から見えてくること ④「危険生物は語る」…危険生物について調べて、生態系の未来について見えてくること など 3.調べた内容について情報カードを活用しながら、根拠と自分の意見とをしっかりと分けて書き、発表カードにまとめる。	複数のメディアから興味を持ったテーマについて調べさせ、情報カードを活用して情報をカードに整理させる。  ・事実と意見を分けるために、意見はアバターを使って表現させる。
まとめ 8分	【言語活動】 4.作成したまたは作成途中のカードを班の中で共有し、改良を加える	・対話することで補足すべ内容に気づき、自分が調べた情報をより一層深めるよう促す。

図書館活用ポイント

めあて: 書籍やインターネットなどの情報から分かったことを情報カードにまとめよう  
～分かったことの根拠となる文章を引用しよう～

分かったこと  
トラはぬいぐるみが落ちているだけで道を変える

一字下げて書く      正確に丸写しする

根拠  
ネコ科の動物は、地上最強のハンターです。(中略) そのなかでも、いちばん体が大きいのがトラ。200 kg近いワシを運べるほどが強いだけでなく、大きな牙でクマやゾウを倒してしまうなど、一対一の戦いなら、向かう所敵なしでしょう。  
(2020年・今泉忠明・P116)

根拠  
どころが、ネパールの公園では落ちていたうさぎのぬいぐるみをわぞで運んで来たとか。最強のトラには、じつは突っちらうほど用心深井一面もあるんです。  
(2020年・今泉忠明・P116)

出典  
「さらにざんねないきもの事典」今泉忠明・2020年・高橋書店

分かったこと      マダラアゲチは  
かいておくとおどろくほど驚かす。

根拠  
「根拠」欄には必ず正確な引用文を記述し、その後に「(著者名・出版年・ページ)」と記載します。

根拠  
「根拠」欄には必ず正確な引用文を記述し、その後に「(著者名・出版年・ページ)」と記載します。

アバター  
アバターは、自分の意見や考えを表現するための絵やイラストです。

分かったこと  
おどろくほど驚かすマダラアゲチは、世界中に分布しているが、日本には生息していません。そのため、日本ではおどろくほど驚かすマダラアゲチを見たことがありません。

根拠  
「根拠」欄には必ず正確な引用文を記述し、その後に「(著者名・出版年・ページ)」と記載します。

アバター  
アバターは、自分の意見や考えを表現するための絵やイラストです。